

# 令和6年度

## 全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月、文部科学省により、全国の小学校第6学年・義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年、中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

本市の調査実施校は小学校19校、中学校8校、義務教育学校2校の合計29校です。

小学校

- (1) 教科に関する調査
  - 国語科 ○算数科
- (2) 生活習慣や学習環境に関する調査
  - 児童質問
- (3) 学校における指導方法に関する調査
  - 学校質問

中学校

- (1) 教科に関する調査
  - 国語科 ○数学科
- (2) 生活習慣や学習環境に関する調査
  - 生徒質問
- (3) 学校における指導方法に関する調査
  - 学校質問

### 本市の校種・教科区分別平均正答率(%)

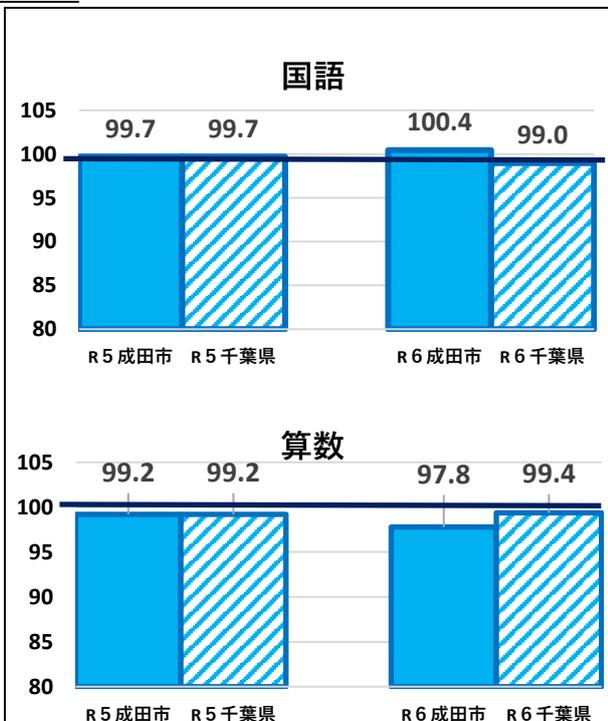
小学校	成田市	千葉県	全国
国語	68	67	67.7
算数	62	63	63.4

中学校	成田市	千葉県	全国
国語	56	57	58.1
数学	48	51	52.5

※文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、千葉県及び成田市の平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

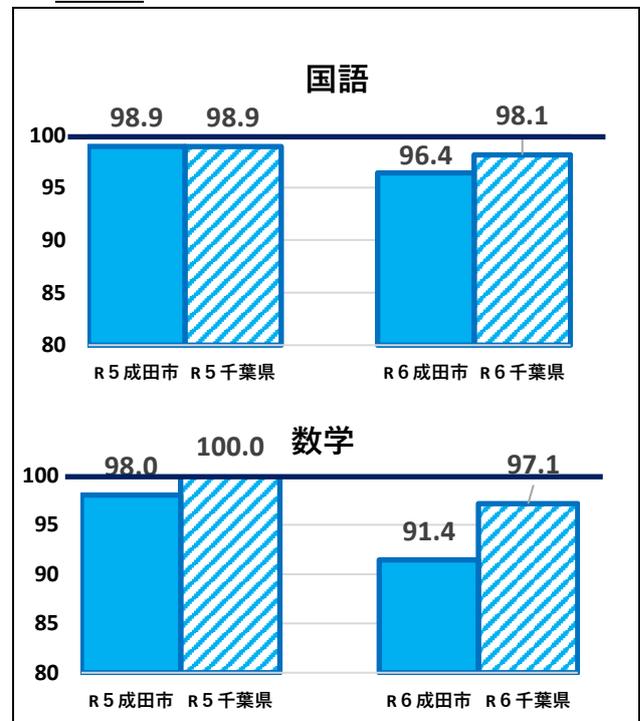
### 千葉県・全国平均との比較 (全国平均を100とする)

小学校



- 国語科においては、全国・県平均を上回りました。
- 算数科においては、全国・県平均を下回りました。

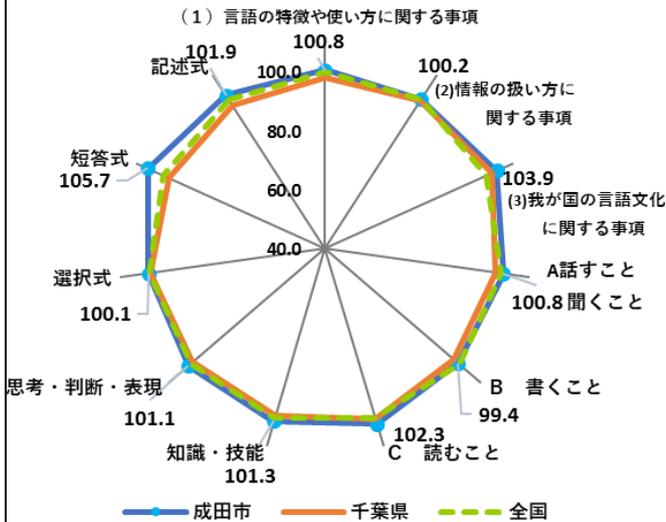
中学校



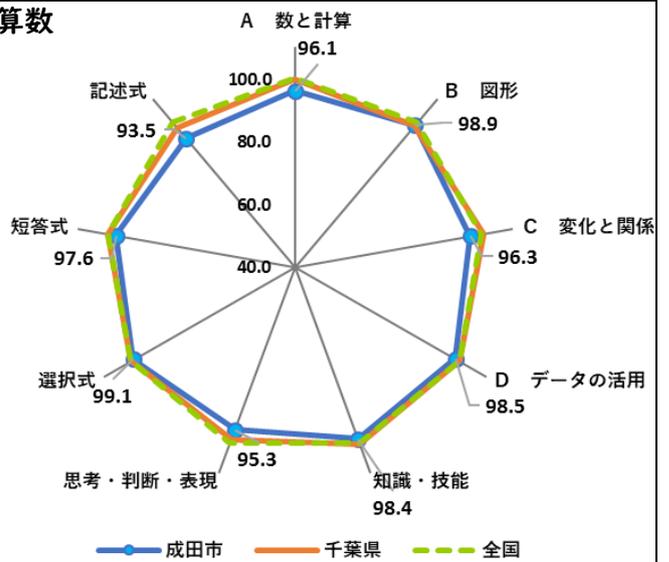
- 国語科においては、全国・県平均を下回りました。
- 数学科においては、全国・県平均を下回りました。

# 小学校 領域・観点別平均正答率 (全国の正答率を100とする)

## 国語



## 算数



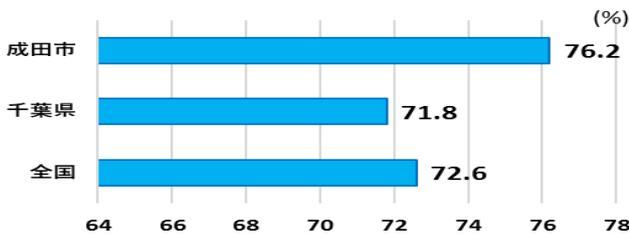
○領域・観点別・解答形式それぞれの項目で概ね良好な結果が得られましたが、「書くこと」の問題で課題が見られました。

○全国・県平均と比較し、同等あるいは下回る結果となりました。特に「数と計算」「データの活用」の領域、「思考・判断・表現」が問われる設問、「記述式」の解答形式に課題が見られました。

### 結果が良好だった設問 (平均正答率)

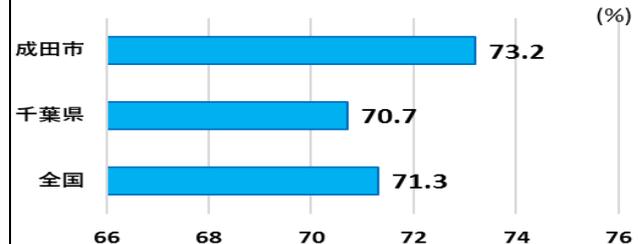
#### 国語「読むこと」

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができました。



#### 算数「図形」

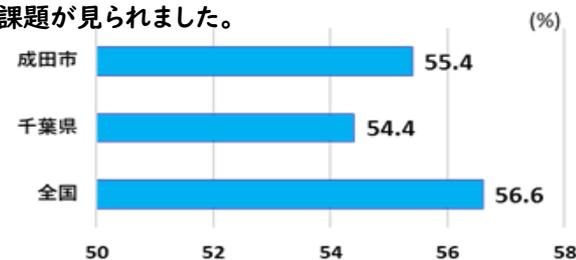
直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解できています。



### 課題が見られた設問 (平均正答率)

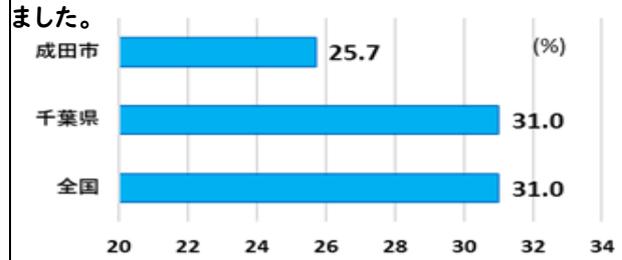
#### 国語「書くこと」

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。



#### 算数「変化と関係」

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。



### ワンポイントアドバイス

#### 国語

○自分の考えをわかりやすく伝えるためには、書き表し方を工夫することが大切です。例えば事実と感想、意見を区別するために、文末表現に注意して読み取ったり書いたりすると、自分にとっても考えを深めることにつながり、相手にとってもよく理解できるものになります。また、様々な情報の中から必要な情報を選ぶ力も身に付けましょう。

#### 算数

○算数を学ぶときは、基本の理解と「なぜこの方法が使えるのか？」と考えることが大切です。また「他にはどんな方法がある？」と周りの人に問いかけてみることで考えが深まる場合があります。また、言葉による表現とともに、図、式、表、グラフといった様々な表現の方法を用いて、説明できる力も身につけましょう。

# 国語科 ここに気を付けよう!

## 小学校国語 課題が見られた問題「書くこと」設問2

### 事実と意見を区別して、自分の考えが伝わるように書こう!

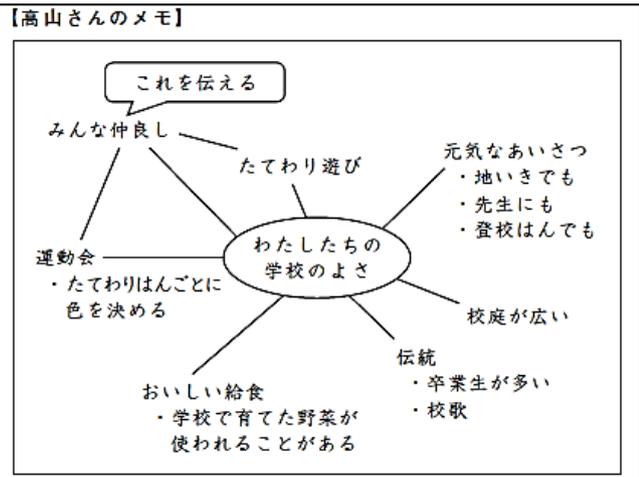
成田市で多かった誤答例  
反応率 34.3%

条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの。  
※条件③を満たしているかどうかは不問とする。

(誤答例) その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という三年生、「みんなが楽しそうだった」という四年生がいました。(82字)

(正答例) 「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という一年生や、「みんなが楽しそうだった」という四年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思います。(100字)

- 〈条件〉
- 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
  - 「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
  - 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。

高山さん

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、きょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

- 6年生がくふうしていること
  - 遊びたいことを下級生に聞く
  - ルールをくふうする
- ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
- 下級生に聞いたこと
  - 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
  - 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
  - 4年生 みんなが楽しそうだった

高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことにしました。高山さんは学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は「高山さんのメモ」と「高山さんの考え」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

高山さんは、次の「高山さんの文章」の□に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

### ポイント

成田市では、この設問の正答率が全国平均に比べ低い傾向が見られました。誤答を分析すると、条件の読み取りに課題が見られました。

設問に示されている情報(取材メモ)は事実であることを捉え、文章を書く目的や意図を理解し、自分の意見が伝わるように書き表し方を工夫しましょう。

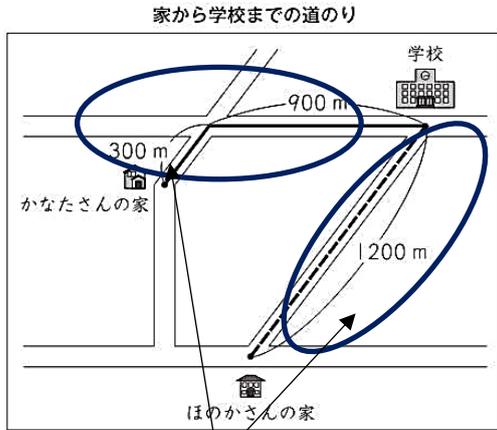
また、設問の文章から、全体の構成を捉え、似ている表現を見付け、文章構成の参考にするとよいでしょう。(2段落は具体例①「運動会」、3段落は具体例②「たてわり遊び」という構成)

# 算数科 ここに気を付けよう!

## 小学校算数 課題が見られた問題「変化と関係」設問4(3)

### 道のりは等しい!かかった時間が異なるなら...

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。  
家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。  
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

道のりは2人とも1200mで等しい

速さはどうなる?

かかった時間は20分間と24分間

(解答例1)

「かかった時間が短い」方が、「歩く速さは速い」から ⇒ かなたさんの方が速い

(解答例2)

実際に計算をし、かなたさんは分速60m、ほのかさんは分速50m、よって、かなたさんの方が速い

成田市で多かった誤答例  
反応率 31.8%

無解答率 5.9%

(正答例) 次の(ア)または(イ)について記述しているもの。

1. かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことを表す言葉や数
2. かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことを表す言葉や数

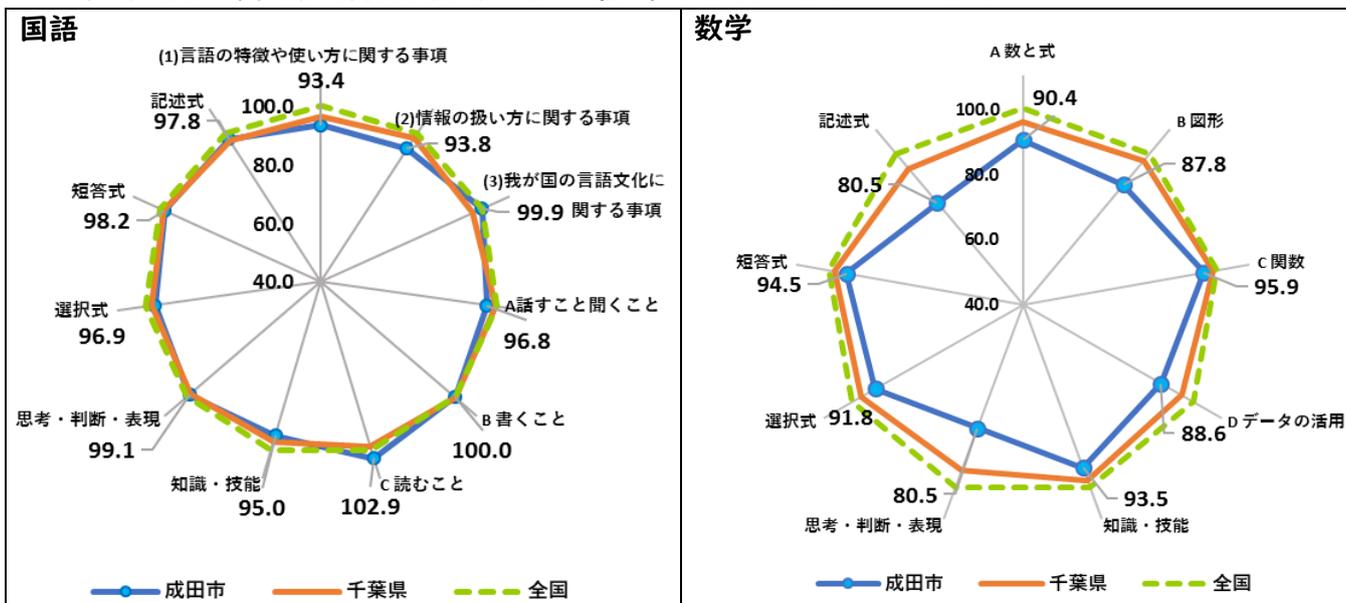
(誤答例) 歩いた道のりが等しいことを表す言葉や数は記述しているものの、かかった時間がかなたさんの方がほのかさんより短いことを表す言葉や数の記述がない。

### ポイント

成田市では、この設問の正答率は25.7%と特に低く、全国・県平均に比べても、低い傾向が見られました。この問題は、道のり・速さ・時間の関係について、2人の道のりが等しいことに気づき、そのうえで『かかった時間はかなたさんの方が短い』それなら『かなたさんの方が歩く速さは速いな』と、数量の関係を捉え、筋道を立てて考える必要がありました。何でも公式に当てはめて計算すればよいというわけではありません。

このように、図や文章から情報を読み取り、どちらが速いかを判断し、それらを説明する力が求められています。まさに、算数・数学科のねらいである「**日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力**」を育てることが大切です。

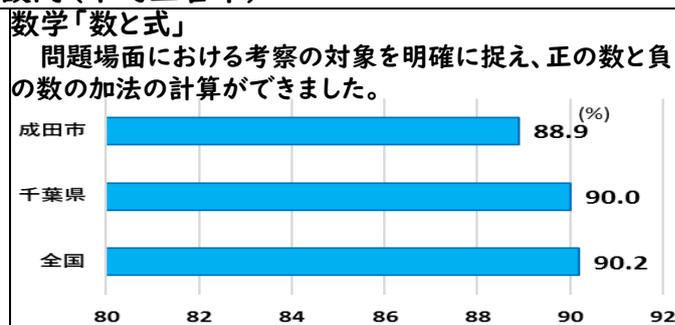
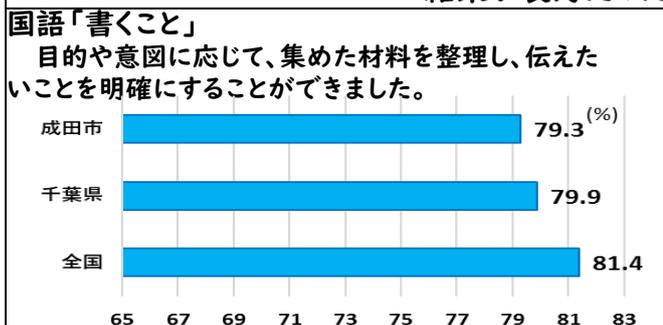
# 中学校 領域・観点別平均正答率 (全国の正答率を100とする)



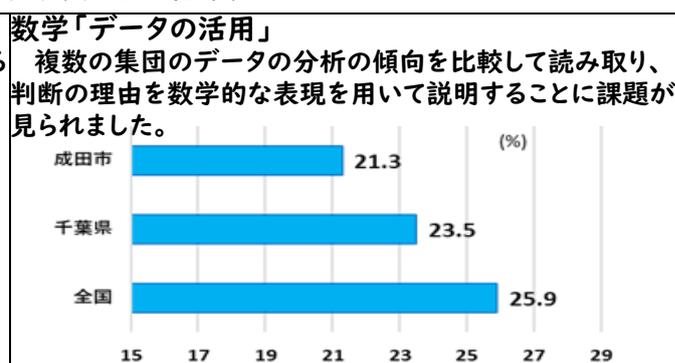
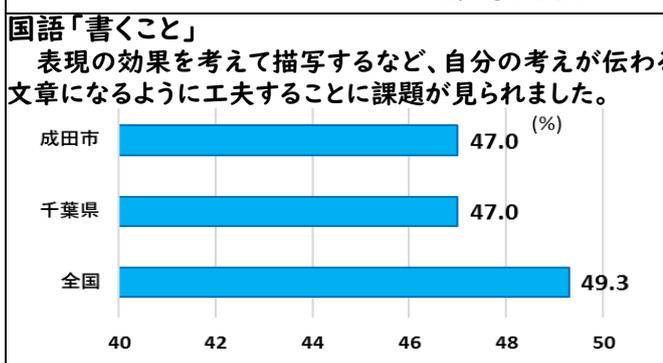
○「読むこと」の領域で良好な結果が得られました。「思考・判断・表現」よりも「知識・技能」の観点で課題が見られました。解答形式では、選択式に課題が見られました。

○全国・県の平均正答率よりも下回る結果となりました。特に「データの活用」の領域、「思考・判断・表現」の観点、「記述式」の解答形式に課題が見られました。

## 結果が良好だった設問 (平均正答率)



## 課題が見られた設問 (平均正答率)



## ワンポイントアドバイス

### 国語

○自分の考えをわかりやすく伝えるためには、表現の工夫が大切です。例えば、物語の様子や場面、行動や心情などを、読み手が言葉を通して具体的に想像できるように描写しましょう。また、普段の読書や物語文・説明文・詩の学習において、効果的な表現技法や語彙を増やすことを意識できると、より効果的な語句や表現を選択できるようになります。

### 数学

○データの活用は、用語を覚え、データ分析した結果を数学的な表現を用いて説明することが大切となります。ロイノートなどを活用して、多様な考えや表現方法に触れましょう。「なるほどな」「使えそうだな」と思ったことは、考えを整理し、アウトプット(書く、話す、発表する)を心がけましょう。理解が深まると類題にも応用が効かせられるようになります。

表現の効果を考えて描写し、その効果を説明する!

成田市で多かった誤答例  
反応率 26.3%

無解答率 16.5%

佐藤さんは、「物語の下書き」の[ ]の部分で、「ノートの一部」の4の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。  
 ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。  
 イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

（登場人物の設定）  
 ・「僕」……紙の詩書、語り手。  
 ・「君」……紙の詩書の持ち主（中学生）。

（もとにする体験）  
 小学生のとき、紙の詩書を親に買ってもらった。使い終わった頃、紙の詩書の引手が壊れて、雨の中、最近はおんらいん詩書ばかり使っている。紙の詩書を久しぶりに使った。

（物語を通して伝えたいこと）  
 紙の詩書を久しぶりに使った。使ったよき。

（各場面では伝えたい「僕」の心情）  
 ④ 出番のない寂しさ。  
 ③ 忘れられるかもしれない不安。  
 ② 久しぶりの出番で感じた喜び。  
 ① 次の出番への期待。

佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「ノートの一部」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（「ノートの一部」及び「物語の下書き」の①から④は場面の番号を表します。）

（物語の下書き）

① あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅でじっと待っていた。ほりだらけになりながら、中学生になつてから、君はオンライン詩書を使うようになった。以前はよく、印を付けたリ、書き込みをしたりしてくれていた。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。

② インターネットだと、複数の詩書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに知りたいことを教えてくれるし、かさばらないし、君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのかな。

③ そう考えていたとき、君は僕の手を取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君はほりで大きくしゃみをした。ほりだらけの僕に顔をしかめたけれど、何度もページを繰っては、いろいろ言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。調べなければならぬ言葉だけでなく、近くにある言葉にも線を引き、意味を確認する君。意味調べが終わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を眺め返していた。君はふたりたりの表情をしていた。僕は自分が認められたような気がした。

④ あの日から数日が過ぎた。

条件①を満たし、条件②を満たさなくて解答しているもの  
 （正答の条件）① アに「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。

② イに、アのように表現すること、  
 「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

（誤答例）ア 僕はまた本棚にしまわれた。でも、今度は君と近い距離。また使われる日を待っている。  
 イ 久しぶりに使ったよきに「君」が気づき、「僕」を近くに置いてくれたことを表現した。

（正答例）ア 窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。  
 イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

ポイント

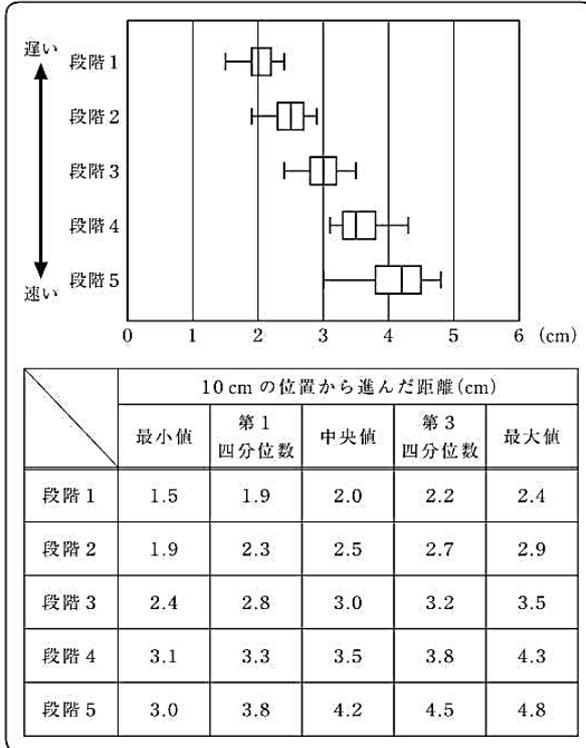
成田市では、この設問の正答率が全国平均に比べ低い傾向が見られました。誤答を分析すると、条件の読み取りに課題が見られました。（イ 効果についての説明）  
 効果的な表現技法（倒置法、比喩など）とその効果を日頃から意識するとともに、設問に示されている情報（ノートの一部）を読み取ることも大切です。（筆者が読み手に伝えたい内容は「次の出番への期待感」）  
 また、自分が伝えたいことが伝わる描写になっているかどうかを確かめるには、他者から意見をもらうことが効果的ですので、友達と読み合ったり、ロイロノートで共有したりしてみましょう。

箱ひげ図の基礎・基本の定着が鍵!

(2) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10 cm の位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10 cm の位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。

前ページの10 cm の位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10 cm の位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成しなさい。

10 cm の位置から進んだ距離の分布

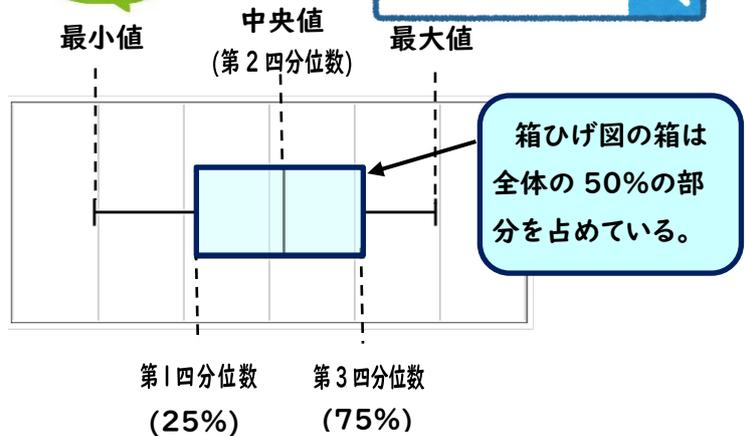


説明

したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。

ポイント

箱ひげ図 用語



成田市で多かった誤答例 反応率 12.9%

無解答率34.1%

(正答例) 次の(ア)または(イ)について記述しているもの。

(ア) 箱ひげ図の箱が、だんだんと右側にずれていっていること。

(イ) 第1四分位数と第3四分位数が、だんだんと大きくなっていること。

(誤答例) 正答例以外で、四分位数のいずれかの値が、だんだんと大きくなっていることについて記述しているもの

ポイント

成田市では、この設問の正答率が全国・県平均に比べ、特に低い傾向が見られました。

この問題は説明欄に

「10cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と記載されています。

このことから『距離が長くなる傾向』=『箱の位置が右になる』または、

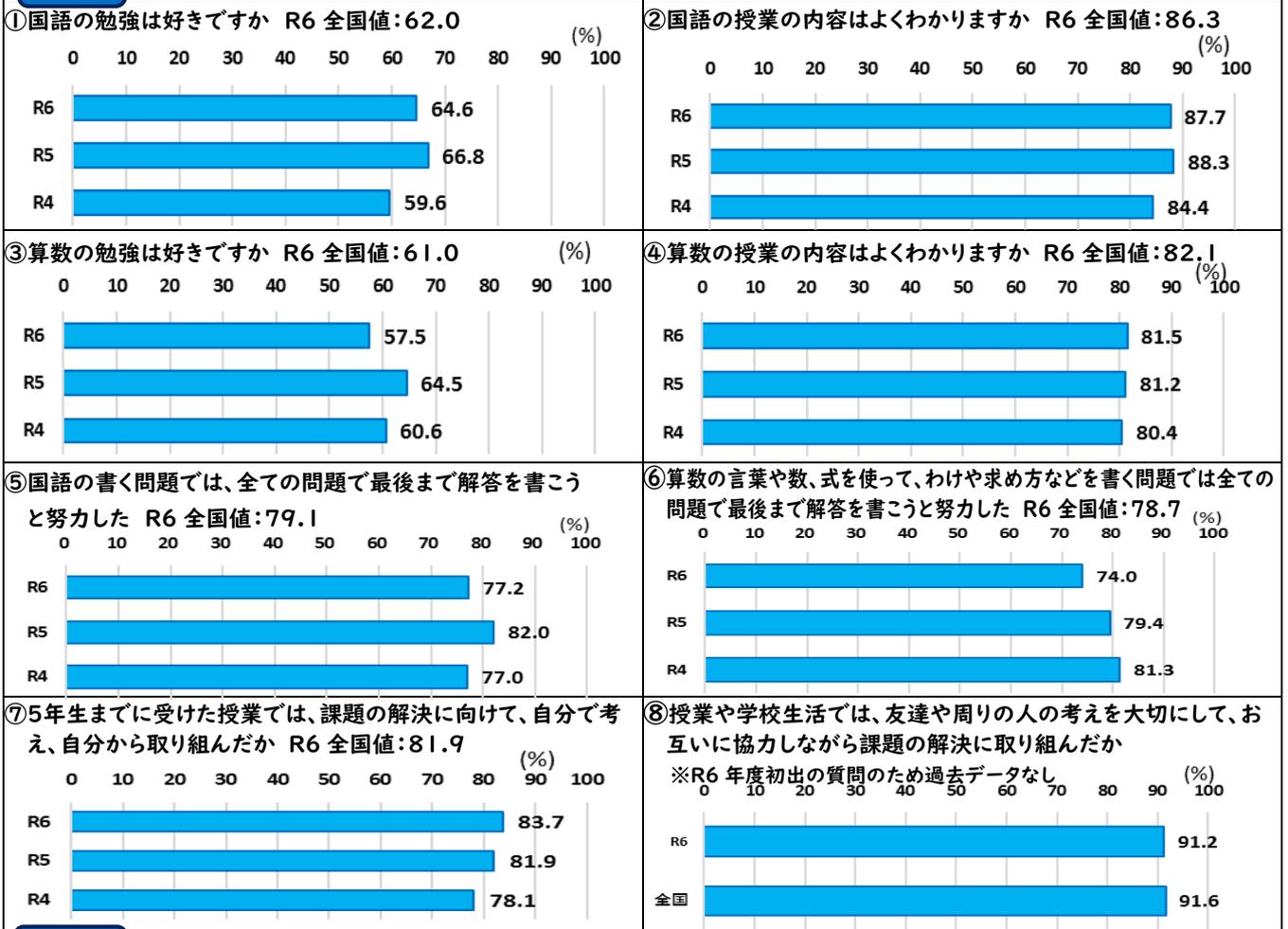
『箱の位置が右になる』=『第1四分位数、第3四分位数が大きくなる』

このように、図からデータの傾向を読み取ることができるよう、見方・考え方を働かせる必要がありました。そのためにも、まずは基礎・基本となる「言葉の意味」を十分に理解することが重要です。

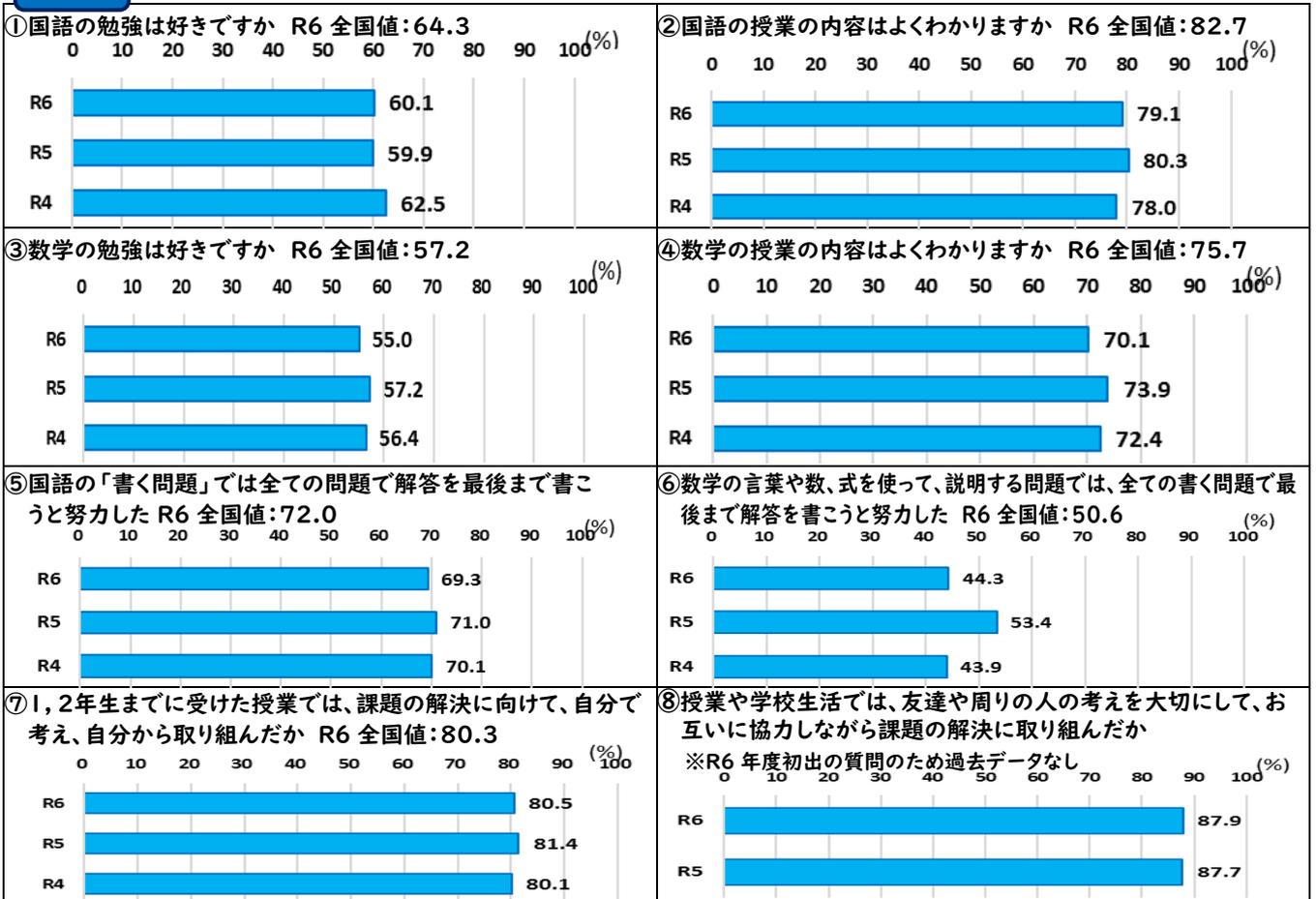
図→言葉、言葉→図に変換するような学習を積極的に取り入れてみましょう。

小学校

全国・経年比較「児童・生徒質問編」



中学校



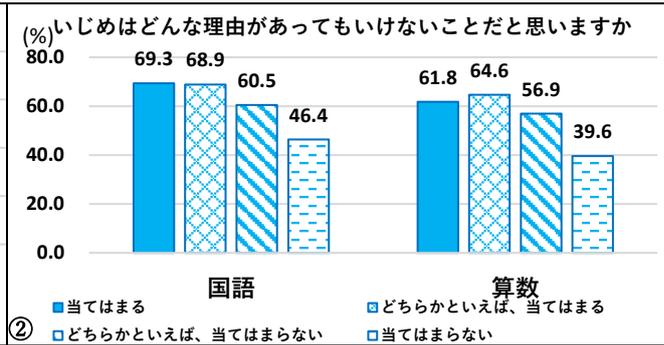
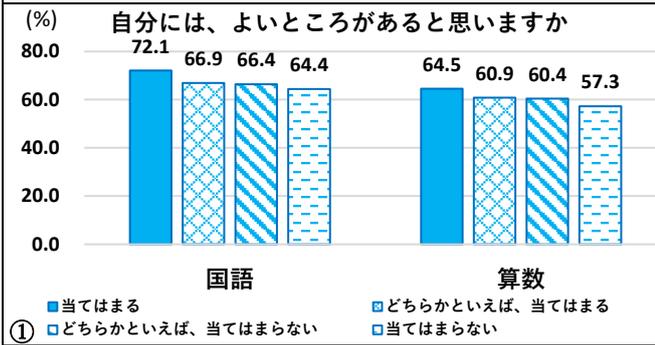
※回答は小・中ともに⑤⑥以外  
「当てはまる、どちらかと言えば当てはまる」を合算した値

# 小学校★ 生活を振り返ろう「学力と相関が見られた項目」

※グラフの縦軸は、平均正答率を表しています。



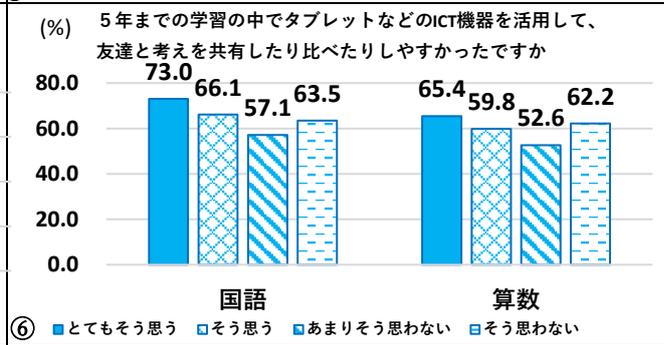
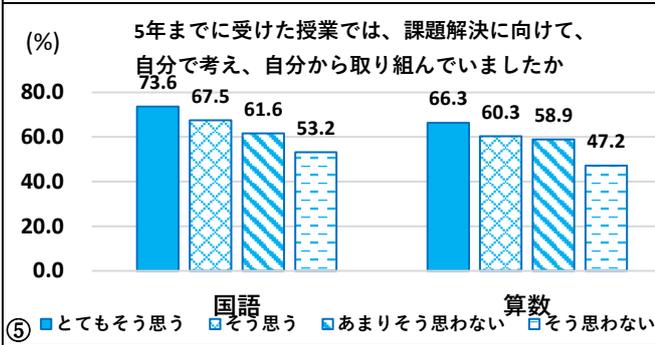
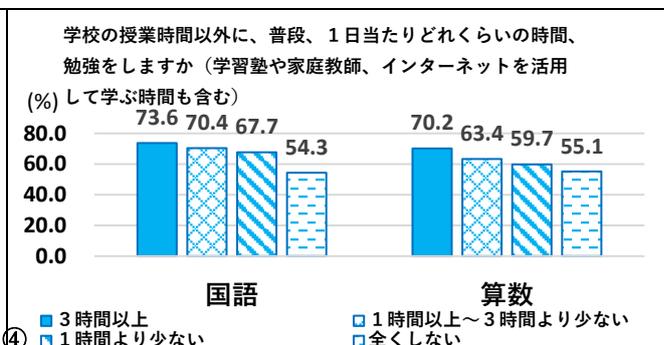
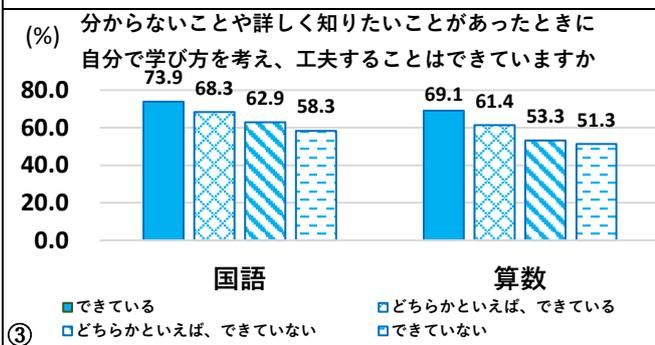
## 自己肯定感・規範意識に関する項目



自分の可能性や良さを信じたり、公正な心をもって周りの人を尊重したりすることが大切  
自己肯定感が高い児童や、規範意識が高い児童ほど正答率が高い傾向が見られました。

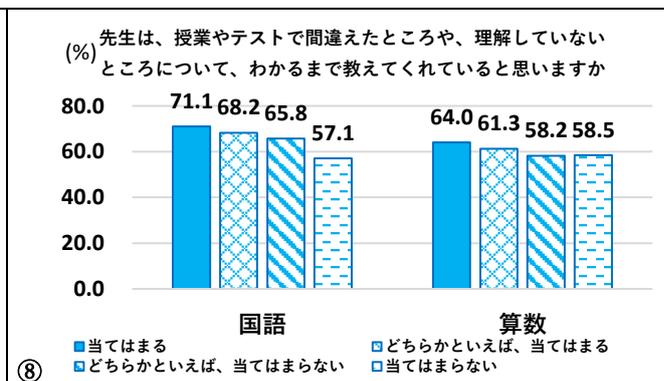
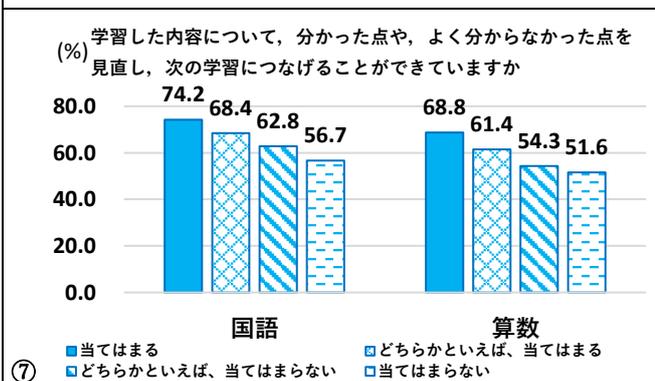


## 学習習慣・ICT を活用した学習状況に関する項目



主体的で自律した学習習慣や学習方法を身に付けることが学力向上につながります。  
自分から学び方を工夫したり、主体的に課題解決に向けて取り組んだり、さらに ICT 活用で友達と考えを共有・比較できる児童ほど、正答率が高い傾向が見られました。

## 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況



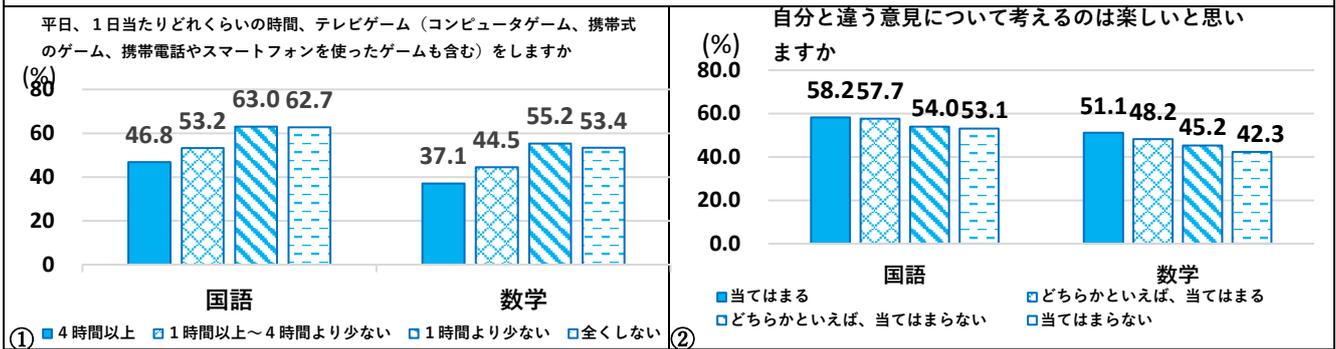
学習したことをふり返ることやわからないことをわかるまで学習する姿勢が大切！  
間違いや分からない問題をそのままにせず、ふり返りを大切にして次の学習につなげたり、わかるまで指導を受けている児童ほど、正答率が高い傾向が見られました。

# 中学校★ 生活を振り返ろう「学力と相関が見られた項目」



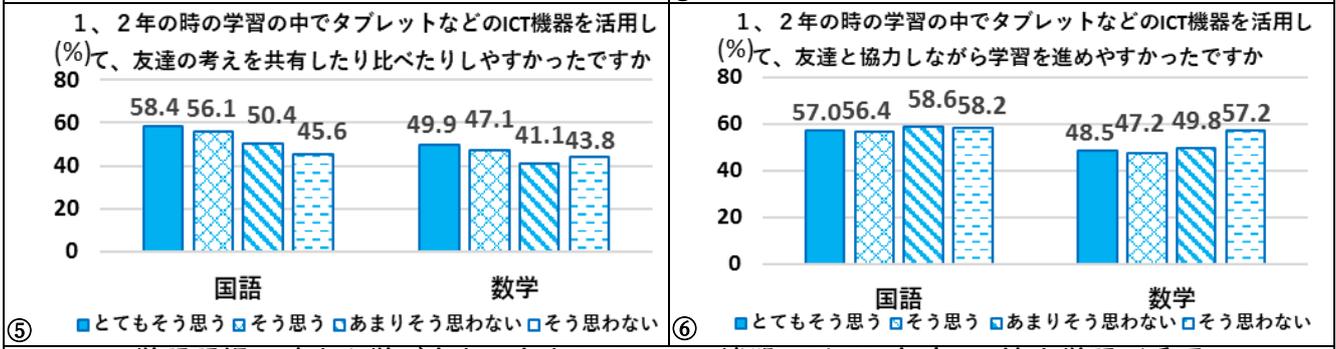
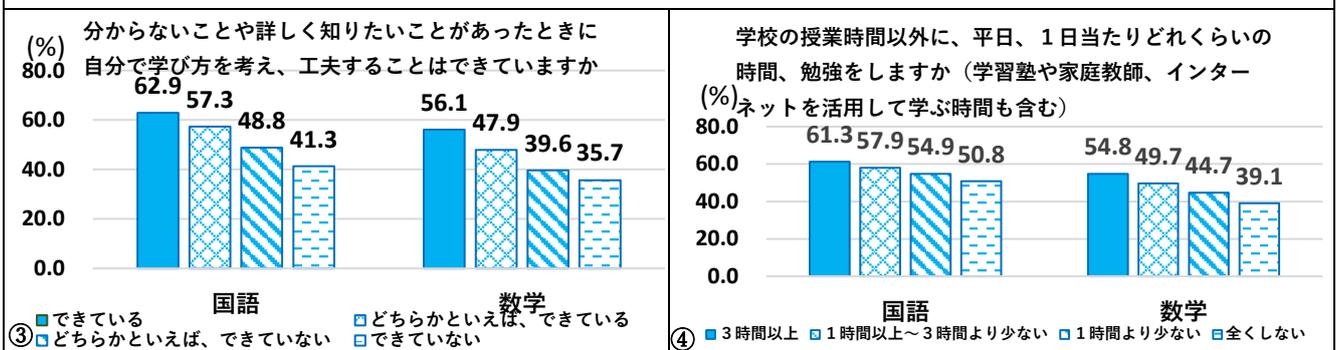
※グラフの縦軸は、平均正答率を表しています。

## 生活習慣・好奇心・共感力に関する項目



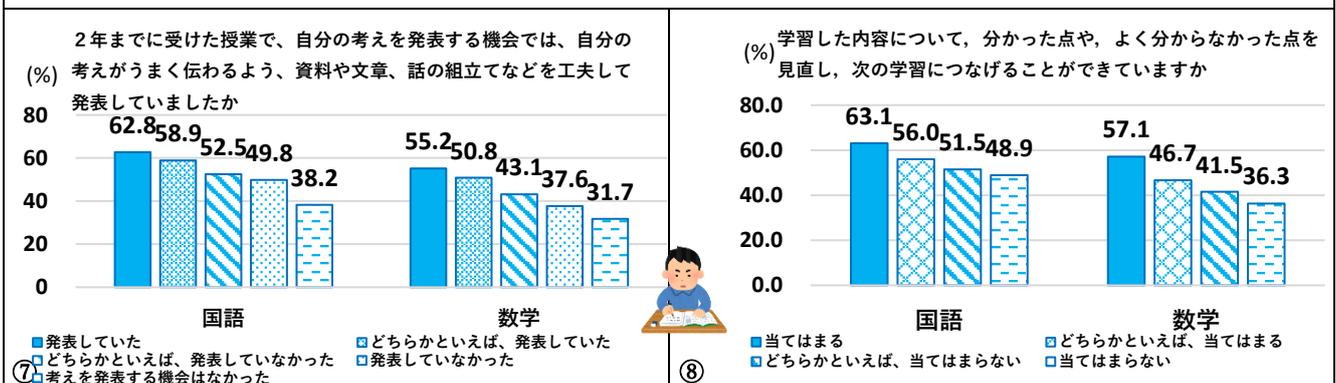
① ゲーム時間の適度な制限や、多様な意見交換やディスカッションをすることが大切  
多様な意見を受け入れ、考える楽しさを感じている生徒ほど正答率が高い傾向にあります。

## 学習習慣・ICTを活用した学習状況に関する項目



⑤ 学習習慣の確立や学び方を工夫すること、ICT機器の活用と友達との協同学習が重要  
授業や家庭学習の中で、自分の学び方を模索し、問題に直面した時の解決策を自ら見つける力を高めることが、学力向上につながる可能性があります。

## 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況



⑦ 学習内容のふり返りや、自分の考えを伝えるために工夫して発表することを心がけよう  
自分が理解できた点と理解しにくかった点を整理し、課題解決の方法を見つけ、復習する習慣が大切です。また、自分の考えをつたえるために資料や話し方を工夫することを心がけましょう。